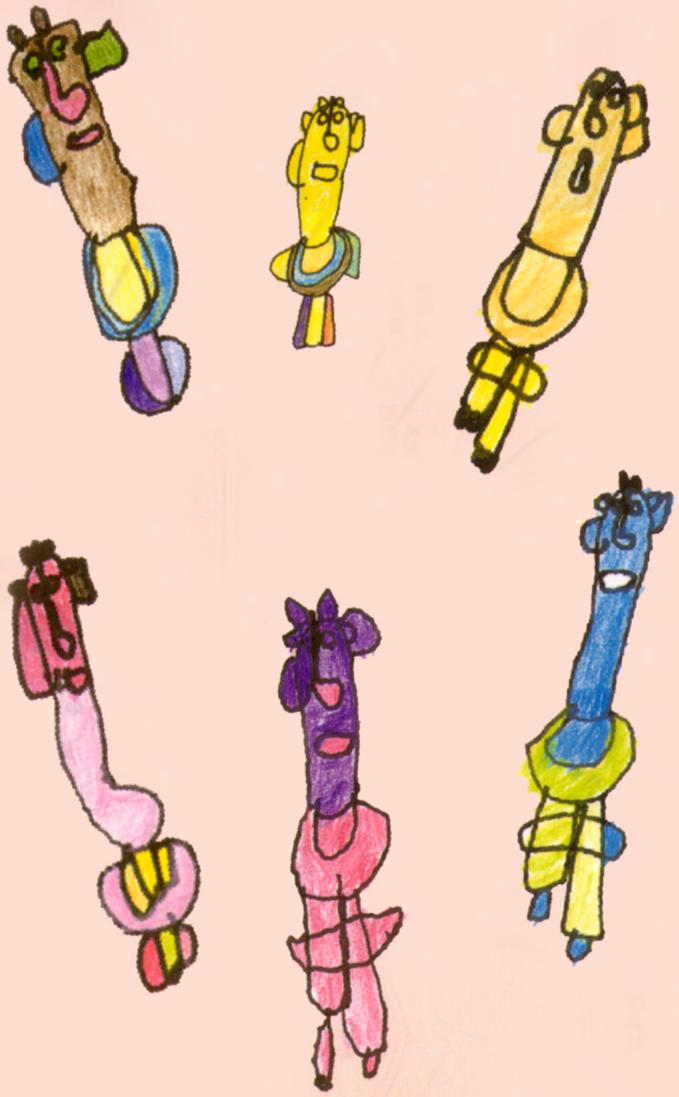
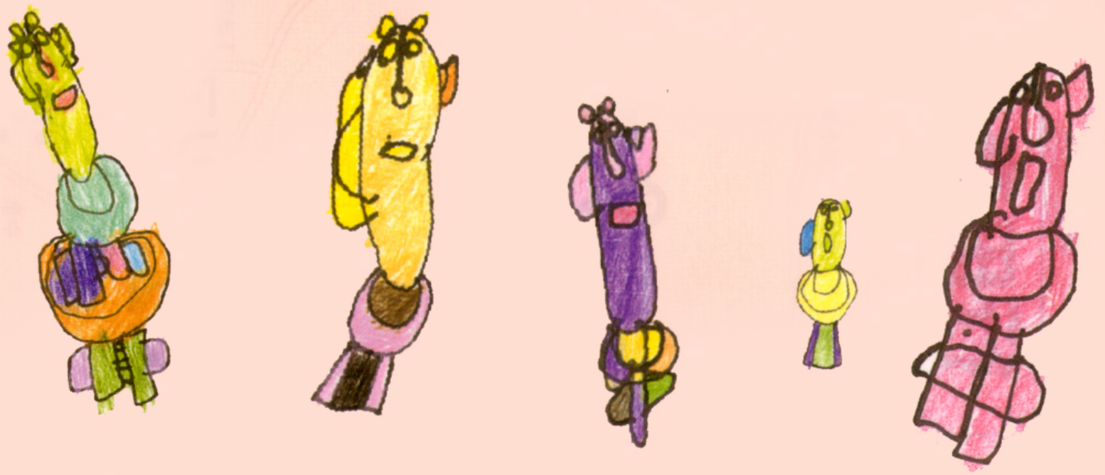
行田がいいね！

観光バリアフリーマップ編

行田たびくる







「行田たびくる」とは…

日本一の足袋の町、行田を散策する人のために、バリアフリーの観点から作った観光マップです。「たびくる」は、旅と足袋、そして、車椅子とその車輪がくるくる、市内をくるくる、そして、行田にふたたび来るの意味を含めて名付けました。観光ガイド「行田がいいね！」と共に、行田を楽しむ旅にご一緒させてください。

●このマップのご感想をお寄せください。

連絡先：行田市健康福祉部福祉課
〒361-8601
行田市本丸２番５号
☎048(556)1111 内線265・266
FAX 048(554)6701
行田市のﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.city.gyoda.lg.jp
電 子 メ ー ル　webmaster@city.gyoda.lg.jp

平成21年3月
発　　行：行田市
製作協力：行田市障害者小規模施設連絡会
（社会福祉法人 かがやきの会 かがやき共同作業所、特定非営利活動法人 行田のぞみ園、NPO法人 CILひこうせん、社会福祉法人 健翔会 麦の穂）

行田市全域マップ


利根大堰


小見真観寺古墳

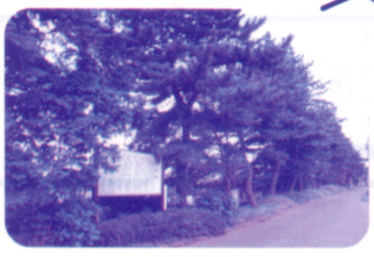

天洲寺


地蔵塚古墳


八幡山古墳


南河原石塔婆


成就院三重塔


石田堤


さきたま緑道

街中・蔵エリア
P12・13

古代蓮の里エリア
P6・7

忍城址・水城公園エリア
P10・11

さきたま古墳公園エリア
P8・9

1～9 周辺エリア
P14・15

アイコンの説明



駐車場があります。



障害者専用駐車場があります。


スロープがあります。


出入口が自動ドアです。



手すりがあります。(りょうがわ)



手すりがあります。(みぎがわ)



手すりがあります。(ひだりがわ)



手すりがあります。(ちゅうおう)


身障者用トイレです。



和式トイレです。手すりはありません。



和式トイレです。手すりがついています。



洋式トイレです。手すりはありません。



洋式トイレです。手すりがついています。



小便用トイレです。手すりはありません。



小便用トイレです。手すりがついています。


授乳スペースがあります。


点字ブロックがあります。



点字案内があります。


車イス利用可能のエレベーターがあります。



補助犬も入れます。



車イスの貸し出しがあります。



手話通訳者がいます。



介助者がいます。

このアイコンは、行田たびくるのオリジナルアイコンです。

観光バリアフリーマップの発行にあたって

行田市では、地域で支えあう福祉のまちづくりを進めるため、地域福祉計画を策定しています。計画の策定にあたっては、市内の全ての公民館でワークショップを開催するなど、市民参加・市民との協働に重点を置いています。今回作成した観光バリアフリーマップは、行田市障害者小規模施設連絡会（かがやきの会、行田のぞみ園、ＣＩＬひこうせん、麦の穂）からの提案に基づき、市民と市が協働するモデルの事業として取り組みました。

そもそものきっかけは6年前、ボーダレスのまちづくりを目指しているＣＩＬひこうせんが、バリアフリーの視点から市内を調査する「バリアフリーウオッチング」を始めたことにさかのぼります。5回目となる平成20年には連絡会の主催となり、４つの観光コースを設定し、安心・安全の観点から観光スポットをチェックしました。そして、その成果を観光マップにまとめることで、障害者はもとより、誰もが楽しく安全に市内を散策できるようにしたいとの提案をいただきました。そこで、連絡会の実績と当事者の視点を取り入れ、市と協働する形でマップを作成いたしました。作成に当たっては多くの関係者にも積極的なご協力をいただきました。中でも、マップに掲載したイラストなどは、障害のある方から提供いただいた作品を使用しています。

観光バリアフリーマップの作成に協力してくださった全ての皆様に感謝するとともに、このマップが行田市を訪れる方々の役に立つことはもちろん、市民と行政を結び、障害者などの視点から地域を見直すきっかけとなることを願っています。

平成21年3月　　行田市



行田市内の観光のことならなんでもおまかせ

お気軽にご利用ください。

ＴＥＬ 048-550-1611

ＦＡＸ 048-550-1612

■観光案内所

ＪＲ行田駅東口に開設しています。市の観光情報の提供、公共施設や宿泊施設の案内、物産品の紹介などを行っています。循環バスの待合室も設けてあります。

開設時間は午前９時から午後４時まで、土・日曜および祝日もご利用いただけます。

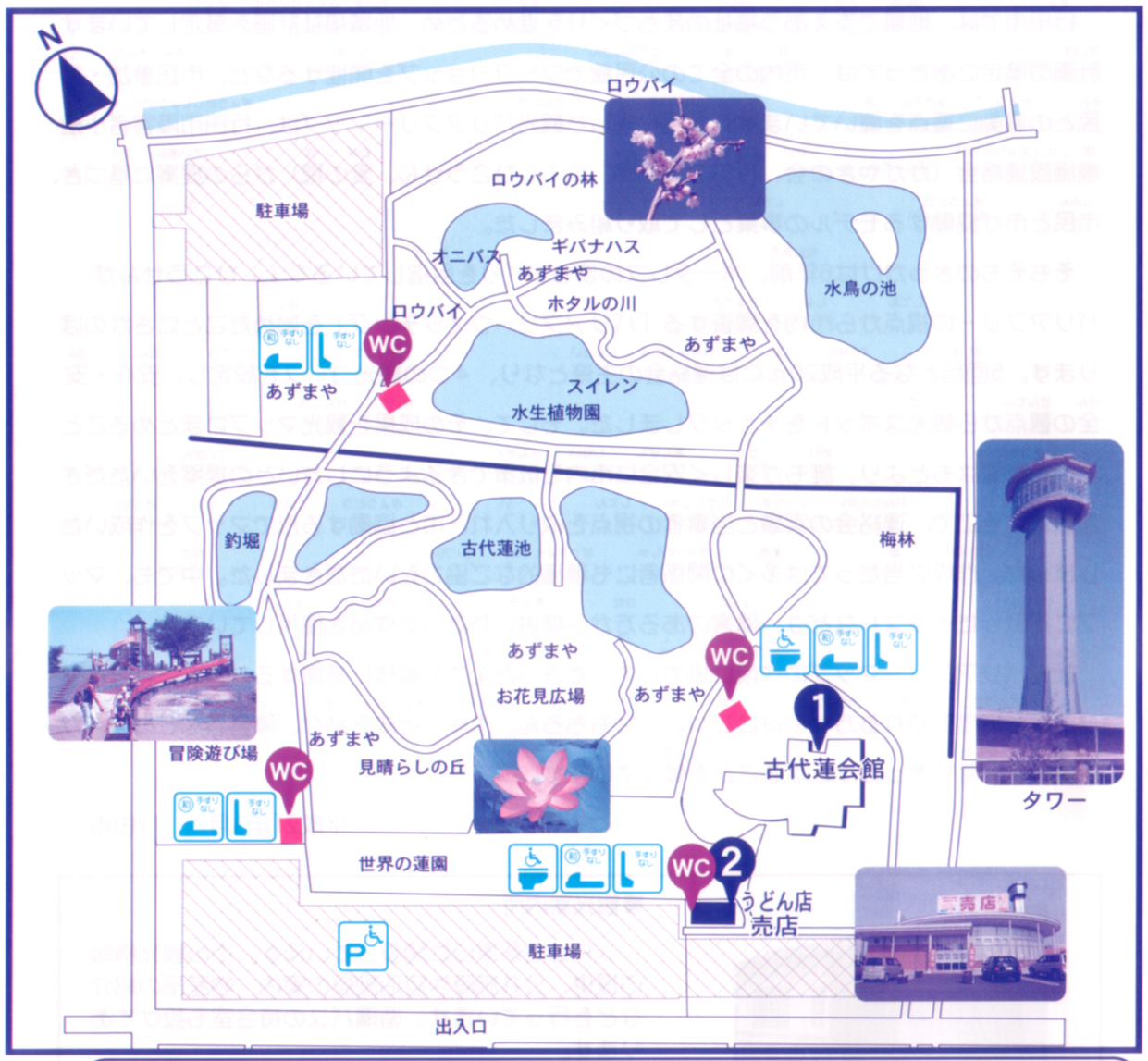
ただし、12月29日から１月３日はお休みします。

■観光ボランティア

忍城址・古代蓮の里・さきたま古墳などの観光案内を致します。

お申込みは、観光案内所（要予約）。

古代蓮の里エリア



古代蓮の里と行田蓮

古代蓮の里にほど近い場所で行われた公共施設建設工事の際に、偶然出土した種子が自然発芽し、池に開花しているのが発見されました。地中深く眠っていた多くの蓮の実が出土し、自然発芽して一斉に開花した事は極めて珍しいことといわれており、この花が古代蓮です。行田市では、天然記念物に指定した古代蓮（行田蓮）を大切に保存するとともに、多くの人に蓮を楽しんでいただくために古代蓮の里を整備しました。園内では、移植された約１０万株の行田蓮を含め世界の花蓮４１種類を楽しむことができます。古代蓮の里は、まさに蓮のテーマパークといえる公園です。



見どころ：蓮の花を中心とした公園
古代蓮の里で永い眠りから目を覚ました、多くの観光客を魅了する行田蓮の美しさを満喫してください。

見ごろ：６月中旬～８月上旬

❶ 古代蓮会館



園内にそびえたつタワーが目印の古代蓮会館です。館内は展示室、展望室、休憩所、研修室の４つに分かれています。１階展示室では、蓮に関する様々な資料を展示しています。２階展望室では、地上50メートルから大パノラマを望むことができ、関東平野を取り囲む山々を眺められます。

開いている時間　9：00～16：30
お休み　月曜日（祝日の場合は営業）
祝日の翌日（土、日の場合は営業）
入館料　おとな（高校生以上）400円［団体（20名以上）320円］
こども（小・中学生）200円［団体（20名以上）160円］
※未就学児童は無料
※障害者割引あり（手帳の提示が必要です）

住　所　行田市小針2375番地
電　話　048－559－0770　　ＦＡＸ　048－559－0784

（注）蓮の開花時期は駐車場が有料（障害者割引あり）です。
（注）蓮の開花時期は公園内の施設の営業時間が変更になります。

7台

※手話通訳は事前確認が必要です。

❷ 売店

行田の新鮮野菜や名産品がたくさん並んでいます。お土産に是非ご利用下さい。

開いている時間　9：00～16：30
お休み　月曜日（祝日の場合は営業）
祝日の翌日（土、日の場合は営業）

うどん店

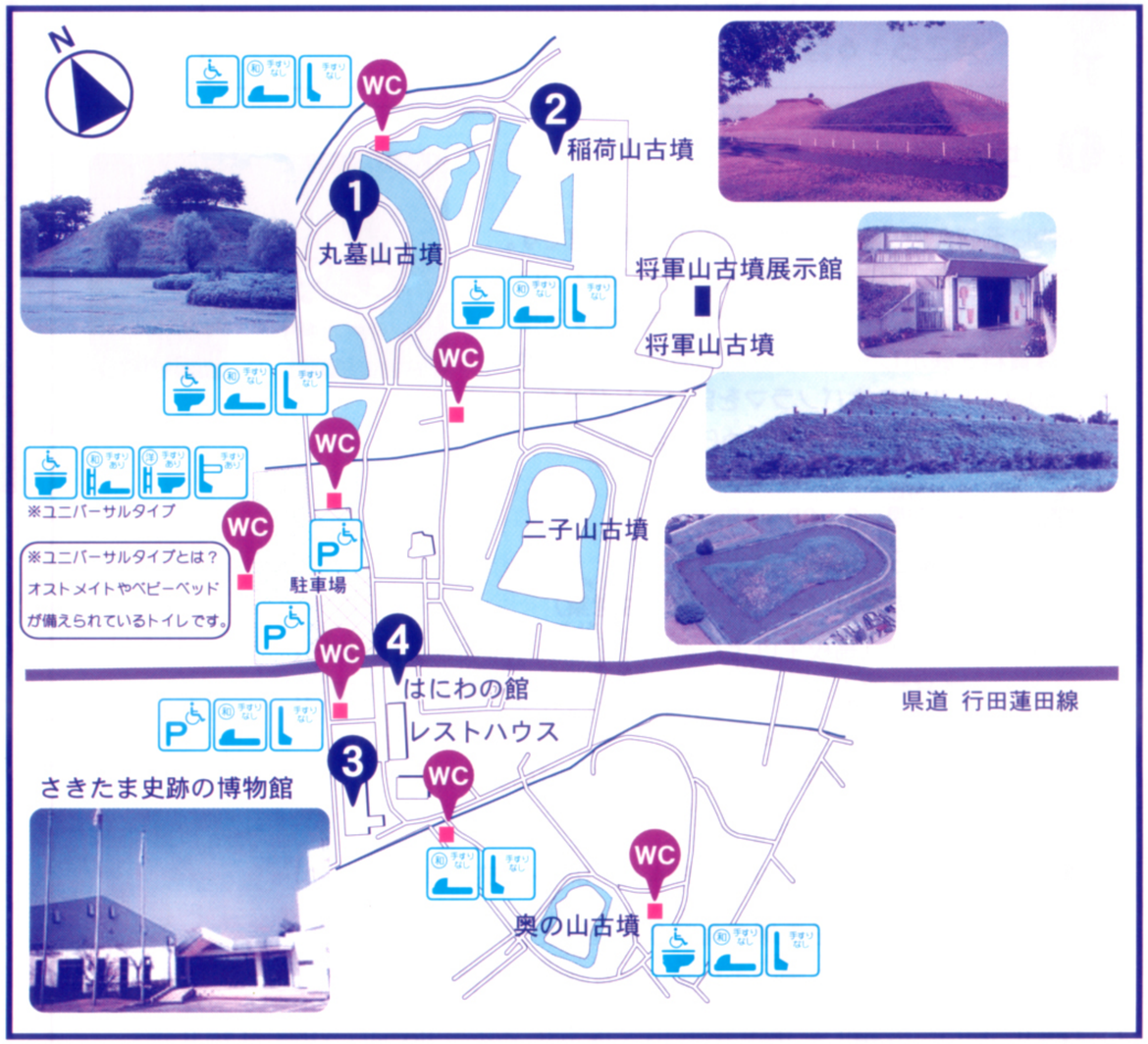
開いている時間　11：00～14：00

お休み　月曜日（祝日の場合は営業）
祝日の翌日（土、日の場合は営業）
年末年始

メニュー　もりうどん、肉汁うどん、きつねうどん、そば

※アイコンの説明は４ページを参照してください。

さきたま古墳公園エリア



❶ 丸墓山古墳

丸墓山古墳は、直径105m、高さ18.9mの日本最大の円墳として有名です。墳丘の高さは埼玉古墳群で最高、まさに山のようです。「丸墓山」という名の由来については、「麿墓」(まろはか)が訛って「丸墓」になった、あるいは丸い墳丘からその名が付いたなどの説があります。また、古墳に続く道は、石田三成が忍城水攻めの際に築いたかつての石田堤のなごりで、三成はこの古墳の上に陣を張りました。

❷ 稲荷山古墳

稲荷山古墳からは、昭和43年の発掘調査の際、金錯銘鉄剣(きんさくめいてっけん)をはじめ多くの遺物が出土しました。これらは昭和58年に一括して国宝に指定され、国宝展示室に展示されています。
稲荷山古墳は5世紀後半に造られた全長120m、高さ12mの前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)です。

見どころ：「さきたま古墳群」は埼玉県名発祥の地、行田市大字埼玉（さきたま）にあります。「さきたま古墳公園」は、国宝『金錯銘鉄剣』が出土した稲荷山古墳や日本一の規模を誇る円墳『丸墓山古墳』古墳内部に入ることの出来る将軍山古墳など9つの大型古墳を中心とした見所満載のスポットです。

❸ さきたま史跡の博物館

国宝『金錯銘鉄剣』を展示している公園内の中心的な施設です。

開いている時間　9：00～16：30（入館は16：00まで）
（7月1日～8月31日まで）9：00～17：00（入館は16：30まで）

お休み　月曜日（祝日・振替休日の場合は営業）
12月29日～1月3日まで

入館料　一般　200円［団体（20名以上）120円］
高校生・学生　100円［団体（20名以上）60円］
小・中学生　無料［団体（20名以上）無料］
※障害者割引あり（手帳の提示が必要です）

住　所　行田市大字埼玉４８３４番地
電　話　048－559－1111　　ＦＡＸ　048－559－1112

1台



金錯銘鉄剣

❹ はにわの館

さきたま古墳公園を歴史散歩するなら、「はにわの館」にもぜひお立ち寄りを！
はにわ作り体験で古代人の気分を味わってみませんか？

開いている時間　9：00～16：30　（ただし、はにわづくり受付は9：00～14：30まで）

お休み　月曜日（祝日・振替休日の場合は営業）
祝日の翌日（土日にあたる場合は営業）
12月27日～1月5日まで

料　金　おとな　1,000円（ねんど2キログラム）
こども　600円（ねんど1キログラム）

住　所　行田市大字埼玉5239－2
電話・FAX　048－559－4599



※アイコンの説明は4ページを参照してください。

おしじょうし 忍城址・すいじょうこうえん 水城公園エリア



忍城の東門を出て、東小路を進むとせせらぎと鯉の遊ぶ池のある浮き城の径に出ます。市役所を背に、南に進むと水城公園に至ります。落ち着いた雰囲気を楽しむにはもってこいのお散歩コース。皆さんも楽しんでみてはいかが。

★★★…お散歩コース
★★★…お散歩コース
（点字ブロックあり）

所要時間：20分（車椅子で30分）

1 郷土博物館・忍城御三階櫓



郷土博物館

館内には行田が忍城の城下町として繁栄した時代や足袋産業の様子など展示物があります。古代から現代までの行田の歴史と文化をテーマとした実物資料中心の展示となっています。

忍城御三階櫓

現在ある忍城御三階櫓は、明治に取り壊されたものを昭和63年に再建したもので、櫓の高さが24.6m内部は郷土博物館の展示室の一部となっていて、最上階からは市内が一望できます。



開いている時間　9：00～16：30（入館は16：00まで）
お休み　月曜日（祝日の場合は営業）
　　祝日の翌日（土、日の場合は営業）
入館料　一般　200円［団体（20名以上）160円］
　　高・大学生　100円［団体（20名以上）80円］
　　小・中学生　100円［団体（20名以上）40円］
※障害者割引あり（手帳の提示が必要です）

住　所　行田市本丸17-23
電　話　048－554－5911　　ＦＡＸ　048－553－4951

2 水城公園



忍城の外堀を利用して作られた水城公園は、中国江南水郷式造園の手法を取り入れた広大な公園で、浮き釣り専用の釣り場として開放されているしのぶ池、池一面がホテイアオイで埋め尽くされるあおいの池などがあり、市民の憩いの場となっています。
園内には、田山花袋の代表作「田舎教師」の一説を刻んだ「田舎教師文学碑」をはじめ、様々な記念碑が立てられています。文学碑を読みながら園内を一周するのも楽しみの一つです。

※アイコンの説明は４ページを参照してください。

街中・蔵エリア

❶ 忠次郎蔵



「忠次郎蔵」は元足袋原料問屋だった本格的な蔵造りの店舗、いわゆる店蔵で、国の登録有形文化財です。現在では、NPO法人忠次郎蔵が管理・運営を行っていて、1階はそば・うどん専門店として営業しています。

住　所　行田市忍１－４－６
電話・ＦＡＸ　048－556－9988

❷ 足袋とくらしの博物館



NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークが開設した本物の足袋工場をそのまま利用した博物館で、実際の足袋作りを見学・体験できます。

開いている時間　10：00～15：00
開いている日　土・日・祝日
入館料　大人　200円
　　小学生　100円

住　所　行田市行田１－２
電　話　090－8726－4962

❸ 大澤蔵



大澤商店が、関東大震災の教訓を生かし、大正１５年に建設しました。市内唯一のレンガ蔵で、国登録有形文化財です。



❹ 大長寺



市街地の東方の国道125号沿いにある露座の大仏。突然巨大な大仏さまが現れ、商店街の入口のシンボルとなっています。寺の入口には、市指定文化財の松尾芭蕉の句碑があります。

❺ 十万石ふくさや本店



行田を代表する店蔵で、国登録有形文化財です。当初は呉服店でしたが、足袋蔵を経て現在では、行田名物の和菓子の店として利用されています。

住　所　行田市行田20－15
電　話　048－556－1285
ＦＡＸ　048－556－1286

❻ 足袋蔵 まちづくりミュージアム（栗代蔵）



もともとは老舗の足袋商店の足袋蔵。物置として使われていたこの蔵をNPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークが借り受け、行田の歴史や観光情報の収集・発信。そして、市民団体の交流の場として活用されています。

開いている時間　10：00～16：00
開いている日　毎日

住　所　行田市行田５－30　　電話・FAX　048－556－1010

※アイコンの説明は４ページを参照してください。

周辺エリア

❶ 利根大堰



昭和43年3月に東京の水不足を緩和させる目的と農業用水の取水堰としてつくられました。12の門扉で巨大な利根川を締め切って取水し、利根川と荒川を結ぶ武蔵水路を経て東京の飲料水として利用されています。また、堰の脇には遡上する魚を見ることのできる大堰自然観察室（魚道）が整備され、自然の水族館となっています。

P

❷ 観福寺（南河原石塔婆）（国指定史跡）



雑木林に囲まれ静かなたたずまいをみせる観福寺に建つ石塔婆は、義経の平家討伐戦に従い生田の森の合戦で戦死した河原兄弟の供養塔といわれ、国指定の史跡になっています。
現在は平成７年に建設された覆屋に保存されています。

❸ 天洲寺（木造聖徳太子孝養立像）（国指定重要文化財）



天洲寺には1247年に大仏師慶禅によってつくられた国指定重要文化財「聖徳太子孝養立像」があります。製作年代の記された孝養像としては最古となるものです。

P

❹ 小見真観寺古墳（国指定史跡）



真観寺境内には墳長102m、高さ8mの前方後円墳があります。後円部と鞍部２ヶ所に横穴式石室があり、石室内から金環、鉄製刀子、銅鋺などが発見されています。６世紀末から７世紀頃に築かれた市内で最も新しい前方後円墳と言われています。また、真観寺観音堂には県指定有形文化財「聖観音像」があります。

P

❺ 地蔵塚古墳（県指定史跡）



若小玉古墳群中の１基。県内では唯一、壁に線刻画がある装飾古墳です。墳丘上に地蔵堂があることから、この名がつきました。

❻ 八幡山古墳（県指定史跡）



この古墳は、古くから八幡社がまつられていたため、この名があります。江戸時代に開口していたと伝えられる石室は、昭和10年に、小針沼の埋め立てのために盛土が取り去られて全容が露出しました。石室は、全長16.7m奥室最大幅4.7mと巨大で、巨石を用いていることから、関東の石舞台と呼ばれています。

P

❼ 成就院三重塔（県指定文化財）



享保14年(1729)に建てられたこの塔は、昔、飢餓、疫病が蔓延する最中、人々の無病息災を願いを込めて建てられたと伝えられます。塔基部の柱の間は、わずか2.4m、総高11.18mの小塔でありながら、それを感じさせない荘厳さを秘めています。県内には３ヶ所しかない貴重な三重塔で、昭和50年に県の文化財に指定されました。

P

❽ 石田堤（県指定史跡）



天正18年、豊臣秀吉の関東平定の際、石田三成が忍城水攻めのために築いたと伝えられる堤です。
わずか一週間で全長２８kmもの堤を築いたと伝えられ、現在は250mほどが残っています。

❾ さきたま緑道



さきたま古墳公園から、武蔵水路に沿って、ＪＲ北鴻巣駅前の鴻巣市赤見台に至る4.8kmの遊歩道と自転車道のある緑道です。安全で快適な、花とみどりあふれる雰囲気の中で、いにしへの緑のみちとして整備され、平成元年11月に開通しました。緑道には「さきたま」の地にふさわしい彫刻50点が展示されています。

※アイコンの説明は４ページを参照してください。

行田たびくる散策プランとは……

平成２０年１０月に行田市障害者小規模施設連絡会が「第５回バリアフリーウォッチング」を開催した際に行田市内の史跡や見どころなどを結ぶコースとして考えたのが、この４つのプランです。

観光スポットの中には、介助者がいないと見学が困難な場所もありますが、訪れる人の工夫次第で楽しめる場所に変えられると思います。そして、この４つのプランを全て廻れば、きっとあなたも「行田通」になれるでしょう。

行田たびくる散策プラン１

～　古代ロマンコース　～

行田と言えば「埼玉県」の県名発祥の地、さきたま古墳公園。
また、公共施設建設の際に地中深くから発見された蓮の種。
なんと発芽し、きれいな大きな蓮の花を咲かせました。
これが「行田蓮」です。



1．行田市駅（秩父鉄道）

10分(車)

2．古代蓮の里

公園内を散策すると、41種類の世界各国の蓮の花を見ることができます。

5分(車)

古代蓮会館１階では蓮の花の紹介や展示をしています。
エレベーターに乗って展望室へ。遠く榛名山、赤城山、浅間山、筑波山、日光山、そして富士山など、関東平野の真ん中から、周囲の山々が一望できます。

3．さきたま古墳公園



さきたま古墳公園は、９基の大型古墳が集中する東日本最大の埼玉古墳群を中心とした公園です。
古代のロマンに想いをよせながらの歴史散歩を楽しむことが出来ます。

20分(車)

4．行田市駅（秩父鉄道）

※このコースは市内循環バスを利用できます。

お問い合わせ：行田市役所
ＴＥＬ 048(556)1111
ＦＡＸ 048(554)0199

行田たびくる散策プラン２

～　知られざる古墳と万葉の旅コース　～

埼玉県名発祥の「さきたま古墳群」はあまりにも有名ですが、実は行田はそれだけではないのです。埼玉県内の全長100mを越える古墳（現代で例えれば県知事クラスの豪族の墓）の大半が行田市内にあります。このことからわかるように、行田は古（いにしえ）の人々の暮らしの中心的なエリアということがわかります。
このコースでは、さきたま古墳公園以外にある巨大古墳を巡り、更に、万葉集に収められた行田ゆかりの四首を読み、いにしえの行田を再発見しましょう!!

1．行田市駅（秩父鉄道）

10分(車)

2．前玉神社　万葉歌碑灯籠 ① ②

5分(車)

3．小崎沼神社　万葉歌碑 ① ②

10分(車)

4．真名板高山古墳

10分(車)

5．地蔵塚古墳

2分(車)

6．八幡山古墳　万葉歌碑 ③ ④

10分(車)

7．小見真観寺古墳

10分(車)

8．水城公園　田舎教師文学碑

5分(車)

9．行田市駅（秩父鉄道）

万葉集行田ゆかりの４首

① 埼玉の小崎の沼に鴨ぞ翼きる
己が尾にふりけける霜を掃ふとにあらし

② 埼玉の津に居る船の風をいたみ
綱は絶ゆとも言な絶えそね

③ 足柄のみ坂に立して袖ふらば
いはなる妹はさやに見もかも

④ 色深く背なが衣は染めましを
御坂たばらばまさやかに見む





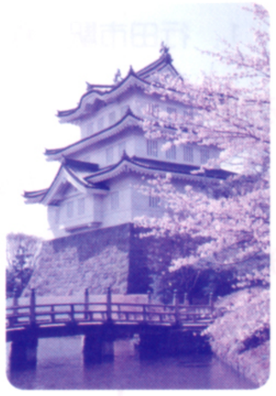


行田たびくる散策プラン３

～　のぼうの城コース　～

忍城を石田三成が「水攻め」した模様を描いた「のぼうの城」(和田竜著)。平成２０年の直木賞にもノミネートされた人気の時代小説です。

小説の舞台となった「忍城」をはじめ、三成が水攻めのために築いた「石田堤」や本陣を構えた「丸墓山古墳」など、小説の中に出てくるゆかりの地を訪れれば、より「のぼうの城」の魅力がわかるはずです。



１．行田市駅(秩父鉄道)

5分(車) ↓

２．忍城址(行田市郷土博物館、御三階櫓)

「浮城」と呼ばれた忍城は沼地に築かれた平城でした。一番高く城のように見えるのは御三階櫓でこれは忍城の見張り台でした。復元された御三階櫓から市内を一望して、丸墓山古墳の上に陣取った石田三成を思い描いてはいかが？

15分(車) ↓

３．石田堤



７日間で28kmの堤防を築き、忍城を水攻めにした石田三成。しかし、忍城は落城せず、「浮城」と呼ばれました。

10分(車) ↓

４．さきたま古墳公園(丸墓山古墳)



石田三成が忍城水攻めの際に陣取った丸墓山古墳。忍藩内で一番高い場所だったそうです。

5分(車) ↓

５．清善寺

明嶺和尚がいたのはこの清善寺です。

5分(車) ↓

６．行田市駅(秩父鉄道)

行田たびくる散策プラン４

～　街中蔵めぐりコース　～

江戸時代から生産が始まり、昭和初期には全国の80％以上のシェアを誇った「行田のたび」。隆盛を誇った時代に製造した足袋を保管していた足袋蔵を始め、街中には文化財になっている建物がたくさんあります。歴史を感じながら、街並み散策しませんか？

本町通り(国道125号線)銅人形

国道を散策すると、昔懐かしい遊びを披露する銅人形がお出迎えします。



１．行田市駅(秩父鉄道)

5分(徒歩) ↓

※足袋蔵まちづくりミュージアムで蔵めぐりのパンフレットを配付しています。



２．忠次郎蔵　国登録有形文化財

3分(徒歩) ↓

３．足袋とくらしの博物館

2分(徒歩) ↓

大正11年建設の元足袋工場で伝統のたびづくりの職人技を見学・体験できるレトロな博物館です。

４．武蔵野銀行行田支店　国登録有形文化財



3分(徒歩) ↓

戦前を代表する昭和９年建設の本格的銀行建物。繊細な装飾と縦長の窓が印象的です。

５．足袋蔵ギャラリー門

大正５年建設の足袋蔵を改装したギャラリー。

5分(徒歩) ↓

６．大澤蔵　国登録有形文化財

5分(徒歩) ↓



７．今津蔵

江戸時代の店蔵。田舎教師に登場。

5分(徒歩) ↓

８．十万石ふくさや　行田本店　国登録有形文化財

5分(徒歩) ↓

９．大長寺　大仏

行田街なかへの入口に鎮座する大仏像です。大長寺入口には市指定文化財の松尾芭蕉の句碑があります。

15分(徒歩) ↓

10．行田市駅(秩父鉄道)